



くららフェスタ 2023

- 日時：令和5年3月12日（日）10：30～15：00
- 場所：キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 1・2階

《1階》市民活動団体の活動にふれてみよう！

太平山麓九条の会 ❀ 幻燈会かこさとし『わっしょいわっしょいぶんぶんぶん』・戦争と平和の展示
渡良瀬くらぶ ❀ ヨシ細工とヨシ楽器の展示・体験試奏
草笛童子の会 ❀ 草笛・写真展
栃木保護区保護司会 ❀ パネル展示・パンフ配布
栃木市更生保護女性会 ❀ パネル展示・グッズ配布
医療生協栃木 ❀ パネル展示・健康チェック
障がい者の一人暮らしを考える会 ❀ 飲み物・野菜販売
新日本婦人の会 ❀ 絵手紙展・着物帯リフォーム品販売
栃木市中途失聴難聴者協会 ❀ 物品販売・指文字しりとり
ハーモニー ❀ 折り紙作品の展示

◎詳細・追加情報はホームページにて🔗



市民活動推進講座

ローカル SDGs 座談会

～渡良瀬遊水地版 SDGs を立ち上げよう～

◎パネリスト

佐藤祐一さん（琵琶湖環境科学研究センター）
琵琶湖版 SDGs の作成に携わり普及推進に努める。
中嶋陽大さん（開智未来高校2年）

- 日時：令和5年3月21日（火）13：30～16：00
- 場所：キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 大交流室

《2階》栃木市のSDGsを考えよう！

栃木市子ども食堂ネットワーク ❀ 親子遊び・食品回収
（賞味期限1か月以上・未開封※生鮮食品不可）
阿久津海さん（大正大学4年） ❀ エコなアクセサリ
ーづくり・海洋プラスチックを考える展示
中嶋陽大さん（開智未来高校2年） ❀ 渡良瀬遊水地
のSDGsを考えよう！
くらら ❀ ごみゼロゲーム・CO2削減 GAME で遊ぼう！

登録更新のお知らせ

次の登録番号の団体は、登録更新の年となりますので更新手続きをお願いします。

0001～0213 0311～0335 0371～0396 0427～0454
0474～0508 0530～0550 0569～0585 0598～0603

3月中にお送りする登録申請書等に必要事項をご記入のうえ、4月末までにくららにお持ちいただくか、郵送・メール・FAXでご提出ください。登録申請書等は、くららのホームページからもダウンロードできます。ロッカー（1,500円/年）・メールボックス（無料）をご利用の団体は、4月末までに更新手続きをお願いします。ロッカー代は、くららで直接お支払いください。

イベントレポート

- 3面) 映画「プラスチックの海」をみてみんなで語ろう！
- 4面) 協働のまちづくりセミナー「ゼロ・ウェイスト」

くららのSNS



Facebook



Twitter



Instagram



助成金情報・登録団体からのお知らせ



公益財団法人パブリックリソース財団 塩沼亮潤 大阿闍梨基金

困窮家庭の子どもや生活困窮者の支援を行っている非営利団体に対して助成を行います。

対象事業：困窮家庭の子どもを支援する事業・活動
または生活困窮者（ホームレス、居住困難者）を支援する事業・活動

対象団体：NPO 法人、非営利型一般社団法人、
社会福祉法人、公益法人、任意団体など

助成額：上限 50 万円

対象期間：助成決定時～令和 6 年 3 月 31 日

応募締切：令和 5 年 3 月 31 日（金）

問合せ：パブリックリソース財団

HP の問い合わせフォームから



NHK 厚生文化事業団 わかば基金

ボランティアグループや NPO の活動を応援します。
対象事業：国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいというグループ

対象団体：地域に根ざした福祉活動を行っているグループや NPO 法人

助成額：上限 100 万円

応募締切：令和 5 年 3 月 29 日（水）

問合せ：NHK 厚生文化事業団

TEL 03-3476-5955



蔵の街うたごえ実行委員会 第 46 回 蔵の街うたごえ喫茶

みんなで懐かしの歌を音楽に合わせて歌いましょう♪

日時：令和 5 年 3 月 25 日（土）

14：00～16：00（13：30 開場）

場所：栃木文化会館 大ホール

（とちぎ岩下の新生姜ホール）

内容：参加者で音楽に合わせて歌を歌います。

参加費：500 円（飲み物・歌集代）

問合せ：蔵の街うたごえ実行委員会

TEL 0282-24-5868（岩川）

TEL 0282-24-1954（臼井）

西方音楽館友の会 第 8 回 西方音楽祭

フォルテピアノのソロ&アンサンブル、チェンバロとの聴き比べで、フォルテピアノの魅力を味わってください。

日時：令和 5 年 3 月 19 日（日）14：30～

21 日（火）13：30～

26 日（日）15：30～

場所：西方音楽館 木洩れ陽ホール

内容：フォルテピアノやチェンバロの演奏

参加費：19 日 2,500 円（小学～大学生 1,500 円）

21 日 1,000 円

26 日 4,000 円（学生 2,000 円）

問合せ：西方音楽館 TEL 0282-92-2825

NPO 法人障がい者の一人暮らしを考える会

障がい者の声を世の中にもっと広めよう

コロナ禍がはじまって 3 年が経ちます。活動の自粛が求められる中で、障がい者が地域の中で活動できる機会も少なくなり、障がい者当事者の声が世の中からなくなってしまうことに危機感をもっています。

そのことを啓発していくために、障がいがあることで不当な扱いを受けた事例を集めたいと思います。

募集方法：メールにてお送りください。（令和 5 年 4 月末日まで）

問合せ：障がい者の一人暮らしを考える会 メール kappa1@cc9.ne.jp（川俣）

映画『プラスチックの海』をみてみんなで語ろう！レポート

どんな企画？



スタッフ阿久津が
レポートします！



みんなで映画『プラスチックの海』を鑑賞、日本の海に関するプチレクチャー、映画やレクチャーを通しての感想や自分にできることを語るイベントです。司会はスタッフ阿久津が務めました！

また、CAT FLIXの牛山美樹さんにご協力いただきました。(CAT FLIXはドキュメンタリー映画の上映会とアフタートークを開催している会です。)

世界で海に捨てられているプラスチックはなんと、年間800万トンもあります。(軽自動車1,000万台分)その多くが海に漂い、魚や海の生き物が食べたり絡まったりしています。また、私たち人間もプラスチックを食べた魚を食べているかもしれません。しかし、身の回りの物はプラスチックで溢れています。今回上映したのはそんな現状を知るドキュメンタリー映画です。

当日の様子



栃木県内にお住まいの10名の方が参加してくださいました。映画では、世界の海中やビーチにプラスチックゴミが溢れていること、それを間違えて食べてしまい多くの魚や生き物が死んでしまっている現状を知りました。プチレクチャーは、スタッフ阿久津が日本の海とプラスチックについてお話をしました。日本の海で排出されているプラスチックは年間6万トンで、そのうちの約8割がまちから排出されたものです。



このまま海のプラスチックが増え続けると、世界の海と同じような状態になる日も近いのではないのでしょうか。世界と日本の海で実際に起こっていることを知り、非常に驚いた参加者の方もいました。参加者の皆さん全員がしっかりと現実を受け止めて、海の環境や自分にできることを考えてくださったようです。

レクチャー後に、上映会の感想や自分にできることを2グループに分かれて語っていただきました！私もグループワークに参加し、皆さんとお話をさせていただきました。きちんとプラスチックゴミを捨てる、ペットボトルはリサイクル可能な回収BOXに入れる、ビニール袋は使わない・・・など、それぞれにできることを話しあっていました。一方で、ほとんどの商品がプラスチックで梱包されているから使用しない！は難しいという意見もありました。2グループとも大盛り上がりで時間ギリギリまで語っていました。今回は、環境問題に関心があり上映会に興味を持ったという方や、小さいお子さんのために普段から環境に良いものを選択しているという方など、様々な方が参加してくださいました。

海のプラスチック問題は、海と共に暮らし、海で獲れたものを食べている私たちの問題です。ぜひ、『プラスチックの海』を見て現状を知ってください。そして、自分には何ができるのかを考えてみてください。

阿久津、卒業します！



3月で大学卒業とともにくららを卒業することになりました。4月からは島根県のスーパーで働きます！私は大学で「環境に優しい養殖」を研究していて、環境に配慮された方法で獲ったり育てたりした魚を扱い、販売したいという目標があります。なので、海が近い地域のスーパーで働き、勉強します。

くららでは、栃木市内を中心に地域や人のために活躍する皆さんの活動を拝見してきました。自然と行事やお店の情報を知ることができ、様々な方との繋がりを感ぜられるアルバイトでした。はじめたばかりの頃は、皆さんにラミネーターの使い方や部屋の利用について教えていただいたこともあります。また、名前を覚えていただいたこと、市内や趣味・活動のことなどたくさんのお話をしてくださったことがとても嬉しかったです！帰省した際には、くららにも寄るのでまた皆さんの活動や近況についてお話を聞かせてください。本当にお世話になりました。ありがとうございました！！

ゼロ・ウェイスト / カーボンニュートラル / 循環型社会の共創へ

全国各地で循環型社会をつくるために、ゼロ・ウェイストとカーボンニュートラルを推進するための政策づくりや人材育成に取り組んでいる一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパン代表理事の坂野晶さんにご講演いただきました。



限りある資源から生まれたものを、ごみにしないで資源として循環させていく工夫について、徳島県上勝町・島根県雲南市・長野県小布施町の先進的な取組や、世界的な動向についてお話しいただきました。

家庭・地域・学校等への「ごみゼロゲーム」やコンポストの普及、スーパーでの資源回収イベント、飲食店の生ごみの堆肥化と剪定枝の炭化による農地への還元など、様々な人たちがごみについて考えられる手段や参加しやすい機会をつくるたくさんのノウハウを学びました。(実践します！)



参加者の感想から

- ・自治会や地域コミュニティ、お店や事業者などが一体となって取り組むことに意義があり、協働のまちづくりの先進事例として参考になった。
- ・世界的な課題である環境というテーマは、市民協働の入口として入りやすいと感じました。地域の特色が出そうかなと思いました。

くらら新スタッフ紹介～『プラスチックの海』上映会と協働のまちづくりセミナーに参加して～

1月からスタッフになりました小沢優依(おざわゆい)です。平成10年に岩舟で生まれ育ちました。大学ではコミュニティデザインを学び、地域と学校の連携について調査・研究をしていました。くららを利用する皆さんの“やりたい”を応援し、目の前のことに熱心に取り組んでいきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

上映会とセミナーに参加して、環境問題への意識がとても高まりました。日頃の生活習慣を見直すきっかけになったと思えます。プラスチックは大変便利で、わたしたちの生活に欠かせないけれども、確実に減らしていく必要があることを認識しました。世界はつながっていて、自分の選択、行動が社会を少しずつ変えていくと思えます。これからは一消費者として、環境に配慮したモノ選びをしていきたいです。

いつもなんとなく買って捨てているモノ。本当に必要なのか？買わない方法はないのか？繰り返し使える入れ物はあるか？適切に分別できているか？など、モノとのかかわり方をこまめに考えるようになりました。食品を使いきる、食べきることは注意していたけれど、水切りの重要性を分かっておらず、いいかげんになっていた気がします…もやすごみの4割を占める、生ごみの約8割は水分で、水分を燃やすのにエネルギーを使って二酸化炭素を排出していたことを学びました。まずは水切りから見直そうと思えます。

一貫して、解決困難な課題を未来の子どもたち世代に残さないように、今できることをすることが求められていると思えます。個人で、家族で、団体で、できることからはじめていきましょう。

とちぎ市民活動推進センターくららとは

ボランティア、NPO、社会貢献活動などの市民活動を推進する拠点です。栃木市をよりよくしようと、さまざまな分野で活動している市民の皆さんの意見交換や交流、情報収集・発信の場として活用されています。



開館時間 月～土 10:00～21:00 日・祝 10:00～17:00

休館日 水曜日・年末年始

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町6-8 キョクトウとちぎ蔵の街楽習館内

TEL 0282-20-7131 FAX 0282-20-7132

E-mail kurara-tochigi@cc9.ne.jp

ホームページ <http://www.kurara-tochigi.org>



※くららは、NPO 法人ハイジが栃木市の委託を受けて管理運営しています。

編集後記

3月になりました。私はこの時期になると少し憂鬱になります。花粉症の季節ですね。スギアレルギーなどをお持ちの方はとても大変な時期です。くしゃみがとまらなくなったり、目のかゆみで頭がいっぱいになっていることでしょう。花粉症対策の眼鏡を買う等、対策を念入りにこの時期を乗り越えたいものです。(大塚)